

2023年度 事業報告書

(単位：百万円)

	事業名称	事業実績等	予算	実績	差異
1 教育力の強化	1) カリキュラム改正 (令和6(2024)年度施行)	1) 新カリキュラムでは、3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー(DP)、カリキュラム・ポリシー(CP)、アドミッション・ポリシー(AP))との整合性、特に、各科目とDP、CPとの整合性を高め、学修内容の明確化を図りました。	1.3	0.7	0.6
	2) 全学共通カリキュラムの点検評価	2) 全学共通カリキュラム将来構想検討部会が点検評価を行い、中間答申をまとめました。	—	—	—
	3) 自律学修支援の推進	3) 新入生向け「パソコン利用ガイド」の作成と配付、LMS(学習支援システム)の運用等、ハード・ソフト面でのバックアップに努めました。	13.8	11.1	2.7
	4) 教学IR体制の構築	4) 総合企画部を担当所管とした、「IR実施体制推進部会」を設け、「学生による授業評価アンケート」結果分析等、具体的な検討を行いました。	—	—	—
	5) 学生の学修実態の把握	5) 「学年修了時アンケート」、「卒業時アンケート」を実施し、その把握に努めています。	—	—	—
2 強化学生支援の	1) 組織横断的な学生支援の継続	1) 令和5(2023)年2月に設置された「学生支援室」が中心となり、障がいのある学生サポートを行っています。	4.3	4.4	△0.1
	2) キャリア支援の強化	2) 学生の動向等を見極めつつ、適宜イベントなどを開催しキャリア支援に努めました。	0.6	1.0	△0.4
3 入試広報の強化	1) 志願者数の確保	1) 推薦等入試を含む総志願者数は、昨年度に比べて増加しました。	32.1	30.8	1.3
	2) 入試制度改革	2) 外部検定試験を活用した「外検+(プラス)」を全学部全学科で実施するとともに、複数学科への出願が容易となるような検定料の見直しを行いました。	0.3	0.3	0.0
	3) 入試広報の強化	3) オープンキャンパスの他、サタデーキャンパス見学会、オンライン入試説明会等を開催しました。また、入試広報動画やこれらイベントの通知を入試広報サイト、SNS等で配信しました。	91.9	98.3	△6.4
4 推進国際化	1) 「獨協大学の国際化推進のためのアクションプラン2021」の遂行	1) 国外留学に加え、海外の大学が日本に設置する大学(日本校)への国内留学を可能とするなどの諸規程の整備を行いました。	9.7	9.7	0.0
5 人事(組織)	1) ダイバーシティ&インクルージョンの推進	1) 障がい者雇用の業務範囲を拡充しました。また、担当職員と、本人及び障がい者雇用コーディネーターとの意見交換を行いました。これらを通じて、ダイバーシティ&インクルージョンに関する実践知を得ることができました。	—	—	—
	2) 新たな人事制度構築	2) IR担当として、課長1名、課員3名を兼務として総合企画部に配置しました。複数業務を受け持つことにより、限られた人的リソースを有効活用に至るとともに、職員の能力開発につながるものと考えます。また、職位を新たに新設し、職務と責任をより明確に意識できるようにしました。	—	—	—
	3) 獨協アカデミックサポートサービス株式会社(DASS)の積極的活用	3) 当該会社に、新たに、獨協大学コミュニティスクエアの管理を業務委託しました。	187.3	200.7	△13.4

6 率化、施設メンテナンスの検証	1) 既存施設設備のメンテナンス	1) 中長期的な視点で予防保全型管理を計画的・効率的に進めました。	143.3	262.0	△118.7
	2) 獨協大学コミュニティスクエアの効率的な管理、運用	2) 令和6(2024)年度から外部貸し出しを行うため、「獨協大学施設の学外使用に関する規程」の改正を行いました。	57.0	21.9	35.1
7 財務	1) 寄付金募集事業の強化	1) 寄附金事業「獨協大学学生サポート寄付金」では、多くの個人と法人より寄付を受けました。	0.8	0.4	0.4
	2) 経常費補助金の獲得強化	2) 「教育の質に係る客観的指標」の点数獲得に努め、「増減率」の改善がみられました。	—	—	—
	3) 事業収入の拡大	3) オープンカレッジの講座開設数を増やしたことから、受講料収入は予算を上回りました。	2.7	2.4	0.3
	4) 経費削減	4) 物価上昇の中、経費に関する適正価格の把握と光熱費削減に努めました。	—	—	—
8 第3期認証評価への対応	1) 学修成果の把握、評価	1) 内部保証推進委員会が「アセスメントポリシー」、「アセスメントプラン」を取りまとめ、アセスメントの実施体制を整備しました。今後、アセスメントを実施し、学修成果の把握・評価に努めます。	25.0	18.5	6.5
	2) 学部及び大学院の収容定員管理	2) 学部については、令和6(2024)年度の入学人数が目標入学人数を上回ったことから、引き続き、定員管理に努めます。 大学院については、経済学研究科博士前期課程経済・経営情報専攻情報専修コース(1年コース)の募集停止及び同コースの廃止、各研究科・専攻の収容定員変更を行いました。	—	—	—

2024年度 主要事業計画書

(単位：百万円)

	事業名	事業内容	2024年度予算
1 への 第3 期 認 証 評 価	1) 学修成果把握のためのアセスメントシステムの導入と実施	1) アセスメント・プランに基づいたアセスメントの実施・評価、学生がDPで掲げた能力の修得状況把握のためのポートフォリオの本格運用	44.9
	2) 学部収容定員充足率の適正化	2) 学部の収容定員を考慮した入学目標者数の設定	—
	3) 大学院収容定員充足率の向上	3) 学外進学相談会他の積極的活用、ホームページ改修による的確な情報提供	0.9
		合 計	45.8
2 教 育 力 の 強 化	1) 令和6(2024)年度新カリキュラム施行	1) 3つのポリシーに即した新カリキュラムの施行と年次進行に伴う準備	0.9
	2) 全学共通カリキュラムの将来構想の提示	2) 全学共通カリキュラムの恒常的な点検評価体制の確立	—
	3) 多様なメディアを用いた授業実施の支援	3) 授業、AV機器等運用支援体制の運営	151.8
	4) 「教学IR体制」の整備	4) 総合的なIRの実施組織構築	0.2
	5) 資格試験などを活用した学習到達目標の検証、結果の集約、公表	5) 学習到達目標の検証等の集約と情報公開	—
		合 計	152.9
3 学 生 支 援	1) 「学生サポート体制」の整備と強化	1) 学生支援室を中心とした障がいのある学生に対する修学支援等	11.2
	2) キャリア形成支援	2) DX促進によるキャリア支援の拡充	—
		合 計	12.5
4 広 報 の 強 化	1) 志願者増加策、安定した入学者の確保	1) 効果的な広報とその検証及び入試制度の検証	81.1
		合 計	81.1
5 推 進 国 際 化	1) 「獨協大学の国際化推進のためのアクションプラン2021」の遂行	1) タスク管理事業計画「大学の国際化推進に関する年度計画」の実行	12.2
		合 計	12.2
6 人 事 組 織	1) 「ハラスメント防止体制」の整備、諸規則の施行	1) ハラスメント防止体制の整備、大学構成員に対する啓発	1.3
	2) 新たな人事制度の調査、検討	2) 一人一人の自己実現に寄与する人材育成制度に向けた調査、検討	—
	3) 獨協アカデミックサポートサービス株式会社(DASS)の積極的活用	3) 教育支援及び入試広報等の業務委託	201.8
		合 計	203.1
7 既 存 機 器 整 備 計 画 の 検 証	1) 情報基盤ネットワークと事務システムの安定稼働	1) 情報関連システム安定稼働のための保守等	194.7
	2) 重複した教育ツールの見直しに向けた準備	2) 類似機能を持つ教育ツールの見直しによる経費抑制	—
	3) 情報セキュリティ強化	3) セキュリティポリシー策定、多要素認証の実装等	15.2
	4) 省エネルギーの推進	4) 省エネルギーの推進と啓発	11.0
	5) 既存施設設備のメンテナンス	5) 施設設備の予防保全型管理によるメンテナンス	—
		合 計	142.4 363.3
8 財 務	1) 寄付金募集事業の継続と更なる学生サポート	1) 寄付金募集事業「獨協大学学生サポート寄付金」の継続と更なる学生サポート	0.8
	2) 中央棟他既存施設建替資金の積増	2) 将来の建替に備え、計画的な特定資産の積み増し	500.0
	3) 経常費補助金の獲得強化	3) 「教育の質に係る客観的指標」に関するポイント獲得のための積極的取り組み	—
	4) 経費削減	4) 業務の成果、見直しと、経費に関する適正価格の把握等による経費削減	—
		合 計	500.8